

## 令和6年第14回桑折町教育委員会定例会 会議録（要約）

### 1. 会議の概要

開催日時：令和6年12月20日（金） 午後1時30分開会 午後2時38分閉会

場 所：桑折町役場 中会議室

出席者：教育長 佐藤浩哉、教育委員4名（柴田宣広、鈴木キヨ子、小野紀章、長谷富子）

欠席者：なし

事務局等出席者：教育文化課長 八巻靖之、副参事 佐藤克彦

書 記：主任主査兼こども教育係長 菅野健二

傍聴人：なし

### 2. 教育長あいさつ

今年最後の定例教育委員会であることを報告し、令和6年は教育施策事業の復活・充実を図った年であったと総括。令和の日本型教育への移行について各学校で研修を深めている。次年度は総合計画、教育大綱、教育振興基本計画の4年目として継続・充実を図る。令和7年度の計画予算案は1月の定例会で報告、2月の会議で議案として提出予定。

本日の会議は報告2件のみで議事はない旨説明。

### 3. 報告事項

#### (1) 教育行政報告

八巻教育文化課長から教育行政全般について報告が行われ、これに対する質疑はなかった。

#### (2) 令和6年第6回桑折町議会定例会報告

長谷部教育文化課長から「令和6年第6回桑折町議会定例会」の内容について報告があり、質疑応答が行われた。

長谷委員：あり方検討委員の公表について確認。

教育文化課長：個人氏名は控えるが、学校代表やPTA代表など団体からの代表であることは説明可能。

小野委員：こおり青空こども園の応募人数が少ない理由を確認。

教育文化課長：3歳児は保育所からの進級や0～2歳の兄弟がいる家庭が多い。4・5歳児は醸芳幼稚園からの転園で費用負担が発生するため少ないのではないかと。今後は3歳児が増えていく見込み。

小野委員：子どもの理解度に合わせてAIがレベル調整する仕組みか確認。

教育文化課長回答：その通り。学習の振り返りやつまづきの把握も可能。英語のヒアリングや発音も個人で学習できる。

小野委員：学校のタブレットにアプリとして導入するのか確認。

教育文化課長：その通りだが、設定に1～2日かかる。

鈴木委員：1月に開催予定の説明会の内容を確認。

教育文化課長：現状と今後の見通し、あり方検討委員会の立ち上げ経過を説明。1月22日（夕方）と26日（日曜日）にイコーゼで開催予定。議員からはスケジュール通り進んでいないとの指摘やアンケート前に町民説明会をすべきだったとの指摘があった。

鈴木委員：統廃合のスケジュール説明がないという前提か。

教育文化課長：その前提であり、現在何も決まっておらず、あり方検討委員会で今後の議論を進める段階である。

教育長：アンケート結果が出たら、あり方検討委員会で話し合いを深め、その内容を教育委員会定例会で報告していく。

柴田委員：住民説明会を飛ばして、あり方検討委員会を進めることへの議員質問について確認。

教育長：アンケート項目ができていなかったため説明会も開けなかった。アンケート内で現状をしっかりと伝える方が効果的と判断した。

柴田委員：決定プロセスについて、教育委員会と町長部局の役割分担を確認。

教育文化課長：あり方検討委員会から提言を受け、教育委員会でプランをまとめ、総合教育会議で町と協議。

教育長：最終的には設置者である町が決定を行う。

柴田委員：地教法の学校設置改廃の権限について、プロセス通りに進めることが重要。

教育長：あり方検討委員会の話し合い内容を定例会ごとに共有しながら進める。

長谷委員：ウェルビーイングについて、日本語表記では何になるのか。

教育長：「より良い生き方」。主体性と協同的な学びの二つの力を持つこと。個の幸せと周りの幸せがウェルビーイングになると思う。

長谷委員：教育現場でスタンダードに使われているか質問。

教育長：2年前から言われ始めた。県の第7次総合教育計画で前面に出されたが、まだ理解が深まっていない。

#### 4. その他

(1) 次回の定例会開催日程（予定）について

定例会 1月24日（金）午前9時 学校給食センター

(2) 今後の日程について

(3) その他

- ・ 小中学校あり方アンケートの配布について
- ・ 観光交流センター基本構想について

種徳美術館の収蔵品について、今の段階から、イコーゼでの展示や役場1階での展示など、活用方法を検討いただきたいとの意見。

（教育委員より）

- ・ 西山城の維持管理について、産業振興課との情報共有の必要性。草木が茂り史跡管理に問題が生じている。今後の話し合いに教育委員会事務局の関与を要望。